

＜相談支援部会：今年度事業計画解説および進捗状況＞

1. 沖縄県全体のがん種別セカンドオピニオンリストを作成する

沖縄県内でがん治療を行っている医療機関の実態調査を行い、沖縄県全体のがん種別セカンドオピニオンリストを協議会ホームページに掲載する。

- 4拠点病院においてはホームページにて掲載済み。他病院についてはセカンドオピニオンを実施している医療機関（22施設）に依頼文書を7月に送付し、現在15施設から返信あり。
平成21年11月協議会ホームページに掲載した。

2. 各拠点病院間のがん相談支援ネットワークの構築と、診療所も含めた全県的ながん相談支援ネットワークの構築を行う

各医療機関のがん相談実務者リストを作成し、ネットワークを構築する

- がん相談実務者リストを作成するにあたり、がん診療を行っている病院・診療所等のがん相談支援員実務者に依頼文書を7月に送付し、平成21年11月メーリングリストを作成した。

3. インターネットを利用した患者向けがん情報を発信する（協議会ホームページおよび拠点病院ホームページ上で、各種がんの基本情報、サロンや患者会等の紹介、セカンドオピニオンリストなどを公開する）

① 沖縄県全体のがん種別セカンドオピニオンリストを掲載する

- 年度計画（1）、に基づき、協議会ホームページに掲載した。
- ② がん相談に関わる実務者に役立つ情報（がん治療の最新情報、書籍、ウェブサイト等）を発信する
➢ 既存のサイトにリンクを貼ると同時に、県内情報の集約を行いホームページに掲載予定。
- ③ 沖縄県内の患者会リストを作成し、各患者会へ協議会ホームページへの掲載を提案する
➢ がん種別ごとの担当者を決め情報収集を行い、各患者会へ協議会ホームページへの掲載を提案する。
- ④ 各拠点病院がん相談実績を公表する
➢ 本年4月より、4拠点病院共通の相談記録様式を使用。解析結果については平成21年度3月にホームページにて掲載予定。
- ⑤ 患者・家族の要望に応えられるよう意見を募集し、協議会ホームページに掲載する
➢ 担当者を決定し、内容については現在検討中。

4. 各拠点病院に、がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場（サロン）を設置する

- 北部地区医師会病院 ⇒ 第1回～3回「北部がん患者ゆんたく会」に協力した。

平成21年度11月より北部地区医師会病院主催で開催予定。

- 県立中部病院 ⇒ 緩和ケア委員会が患者・家族を対象とした勉強会を毎月毎週木曜日
に開催（院内患者対象）

第1回「中部がん患者ゆんたく会」に協力した。

- 那覇市立病院 ⇒ 那覇がん患者ゆんたく会「がん患者サロン」5月より毎月開催（第6回迄開催済）
- 琉球大学医学部附属病院 ⇒ 「沖縄がん患者ゆんたく会」6月より毎月開催（第5回迄開催済）
「中部がん患者ゆんたく会」9月より開催（第2回迄開催済）
「北部がん患者ゆんたく会」8月より開催（第3回迄開催済）

(*NPOマインドケアおきなわが、那覇市健康推進課を窓口に、「ふるさと雇用再生特別交付金事業」申請し、患者サロン開設等を企画中)

5. 拠点病院におけるがん相談支援員の質の向上と、それ以外の病院におけるがん相談支援センターの設置とそれに対する沖縄県からの支援を求める

- 平成21年度厚生労働省科学研究費補助金 がん臨床研究事業主催の研修会に参加した。

| 病院名 | 研修会名称 | 参加者名 |
|--------|--------------------------------|--------|
| 那覇市立病院 | 「がん当事者との協働のあり方」 を考えるワークショップ | 樋口 美智子 |

- 平成19-21年度厚生労働省科学研究費補助金 がん臨床研究事業主催の研修会に参加した。

| 病院名 | 研修会名称 | 参加者名 |
|-------------|----------------|---------|
| 北部地区医師会病院 | がんカウンセラーケース成講座 | 仲村 実和子 |
| 県立中部病院 | 〃 | 渡嘉敷 利恵 |
| 〃 | 〃 | 屋良 尚美 |
| 那覇市立病院 | 〃 | 樋口美智子 |
| 〃 | 〃 | 高江洲 アヤ子 |
| 琉球大学医学部附属病院 | 〃 | 石郷岡 美穂 |
| 〃 | 〃 | 西田 悠希子 |
| マインドケアおきなわ | 〃 | 崎浜 海里 |

- 第3回沖縄県がん診療連携協議会にて、「がん相談支援室の環境整備・人材育成」について提言済。
➤ 沖縄県がん対策アクションプランにて、「がん相談支援室の環境整備・人材育成」について提言済。

6. 定期的に開催される相談員研修会を企画・開催する。

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会との共催で研修会のシリーズ化を企画・開催する

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会との共催で県外講師を招聘し、平成21年10月に講演会を開催予定

- 平成21年度がん相談支援員実務者研修会

平成21年度4月より毎月開催。研修会内容および今後の日程については別紙参照 資料8-1-1

- 那覇市立病院 緩和ケア委員会との共催で、平成21年10月30日（金）緩和ケア（コミュニケーション）研修会「がん医療におけるコミュニケーションの基礎知識と技術」をテーマに開催した。

資料8-1-2

7. ピアサポートの養成と各拠点病院でのピアサポートを実施する。

- 担当者を決定し、内容については現在検討中。

8. 各拠点病院におけるがん種別院内患者会の設置、病院の垣根を越えたがん種別患者会連合会の結成の支援、更にはがん種横断的がん患者会の結成の支援とそれぞれについての沖縄県からの支援を求める
 - 拠点病院ごとに患者会設置のための情報収集を行うと同時に、連合会結成にあたり沖縄県に支援を求める。
樋口部会長が H21 年 9 月 6 日（日）国立がんセンターで開催された「がん当事者との協働のあり方」を考えるワークショップ～相談支援センターに求められているものは～の研修会に参加した。
9. 拠点病院共通の相談記録様式を使用し、データー解析を行い公表する。
 - 本年 4 月より相談記録様式を使用し、運用及び解析を行っている。解析結果については平成 21 年度 3 月に協議会ホームページにて掲載予定。
10. セカンドオピニオンの普及および啓蒙を兼ねたアンケート調査を、拠点病院およびがん治療を行っている県内の医療機関の医師・患者を対象に実施する。
 - 医師、患者を対象としたアンケートを作成。7 月 1 日より 4 拠点病院のセカンドオピニオンを受診した患者を対象にアンケートを実施。解析結果は協議会ホームページにて掲載予定。
11. セカンドオピニオン受診サポートプログラムの実現に向けて支援を求める。
 - ノースウエスト航空が実施しているエアケアチャリティープログラムを参考に、セカンドオピニオン外来受診の患者および家族の航空券の負担軽減策実現に向けて引き続き情報収集を行う。

平成21年度事業の行動計画

沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会

平成21年度 がん相談支援員実務者研修会 予定

- 共 催 : 沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
- 目 的 : がん相談・緩和ケア等に携わるソーシャルワーカー等が、相談支援業務を行って
いく上で必要な基本的な知識と技術の概要について習得することを目的とする
- 対 象 : 地域がん診療連携拠点病院相談支援センター職員、
医療機関等でがん相談支援業務に携わる医療ソーシャルワーカー等
- 方 法 : 講義、DVD視聴、演習等
- 日 時 : 每月第2水曜日 13:00~14:00
- 場 所 : 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会会員の所属する医療機関等

| 回 | 月日 | 担当 | 場 所 | 内 容 | 講師 | 参加者 | 実施状況 |
|----|--------|-----|----------|--|-----------------------------|-----|------|
| 1 | 4月8日 | 樋 口 | ちゅうざん病院 | がん対策基本法・がん対策推進基本計画の 概要、がん診療連携拠点病院について | 樋口 美智子 (那覇市立病院) | 24人 | 済 |
| 2 | 5月13日 | 石郷岡 | ちばなクリニック | 緩和ケア概論(DVD視聴) | 石郷岡 美穂 (琉球大学医学部 附属病院) | 13人 | 済 |
| 3 | 6月10日 | 仲村 | おもととよみの杜 | 5大がん地域連携パスについて | 仲村美和子 (北部地区医師会病院) | 14人 | 済 |
| 4 | 7月8日 | 金城 | おもととよみの杜 | 診療ガイドライン・臨床試験 | 金城 尚美 (県立中部病院) | 17人 | 済 |
| 5 | 8月19日 | 樋 口 | 沖縄大学 | 精神腫瘍学の概要とオンコロジーソーシャルワーク | 樋口 美智子 (那覇市立病院) | 17人 | 済 |
| 6 | 9月9日 | 石郷岡 | おもととよみの杜 | 臨床腫瘍学 | 石郷岡 美穂 (琉球大学医学部 附属病院) | 11人 | 済 |
| 7 | 10月24日 | 仲村 | 那覇市立病院 | 乳がん | 仲村美和子 (北部地区医師会病院) | | |
| 8 | 11月11日 | 金城 | | 肺がん | | | |
| 9 | 12月9日 | 樋 口 | | 肝がん | | | |
| 10 | 1月13日 | 石郷岡 | | 大腸がん | | | |
| 11 | 2月10日 | 仲村 | | 胃がん | | | |
| 12 | 3月10日 | 金城 | | 血液がん | | | |

平成21年度 緩和ケア（コミュニケーション）研修会

主 催： 地域がん診療連携拠点病院 那覇市立病院 緩和ケア委員会
 共 催： 沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会

対 象： 医師・看護師・薬剤師・関係職員、地域の医療機関職員等 100名

日 時： 平成21年10月30日（金）18:00～19:30

会 場： 那覇市立病院 3階講堂

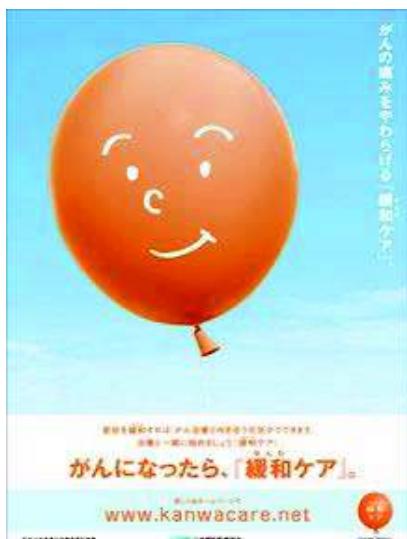
参加費： 無料

テーマ： 「がん医療におけるコミュニケーションの基礎知識と技術」

講 師： 親富祖 勝己 氏 <沖縄県立中部病院 精神科部長>

内 容： ①コミュニケーションとは

- ②医療従事者のコミュニケーション技術と関連する要因
- ③コミュニケーションの語源と意味
- ④基本的なコミュニケーション技術
- ⑤がん医療における悪い知らせとは
- ⑥悪い知らせを伝えるコミュニケーション技術
- ⑦悪い知らせを伝えた後の患者・家族との関わり



* 参加申し込み方法：

別紙申込書に必要事項を記入の上、

10月23日まで、下記までFAXしてください。

定員になり次第締め切ります。

連絡先：那覇市立病院 がん相談支援センター

樋口 美智子

TEL：098-884-5111（内線127）

FAX：098-886-5502

(院外用)

FAX: 098-886-5502 那霸市立病院 がん相談支援センター 行

平成21年度 緩和ケア（コミュニケーション）研修会

参加申込書

| 番号 | 氏名 | 所属機関 | 職種 | 備考 |
|----|----|------|----|----|
| 1 | | | | |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |
| 5 | | | | |

所属機関 : _____

代表連絡先 : TEL : _____

FAX : _____